

平谷村

ひらひら平谷

長野一人が少ない村の 第三の居場所

364人

R7年度1月時点

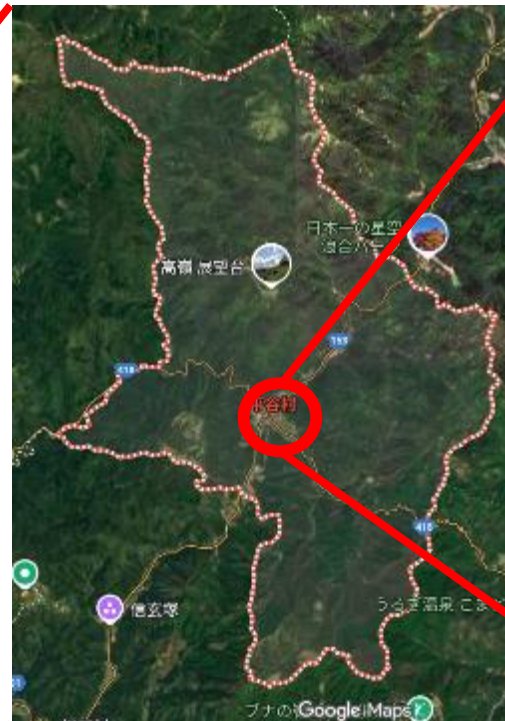
- 小さな村だからこそ良さ
- 小さな村だからこそ難しさ
- そんな場所だからこそ「学びの新しい当たり前」とは

平谷村



長野の南端
(豊田や浜松の方が近い)

森林96.7%



標高920m



「小さな村だが、大きな国道が通っているので意外と不便は少ない」

人が住んでいるところは自転車で一周30分

かつて信州と三河を結ぶ三州街道の宿場町として栄えた

産業



観光・農業がメイン

ひらひら平谷ができるまで

- **2018年、現教育長が協力隊として赴任。**

- こどもたちが、放課後に居場所がなく
所在なさに歩いていた。
- 何とかこの村の子たちに「居場所を」
2019年に現教育長含む協力隊4人と
地域の協力者とともに
「ひらひら平谷」立ち上げ。

- **教育委員会直轄事業**

- **運営スタッフは全員協力隊**

利用する人が
選んで
過ごせる
居場所！



ひらひら平谷の紹介

行ってもいい場所 行かなくてもいい場所

学童保育、放課後児童クラブ

行けない子、行かなければいけない子がいる。

ひらひら平谷

行ってもいいし、行かなくてもいい。飽きたら途中で帰ってもいい。

平谷村の人ならだれでも来ていい場所。子どもも大人も！

“ひらひら”の機能

ひらひら平谷は
“多機能”な居場所！

多世代交流拠点

	月～木	金	土日、放課後			
9:00	みんなの居場所	小中学校 支援	こども食堂 自然冒険クラブ 各種イベント 各種教室 移住体験			
10:00				フリースペースままま (教育支援センター)	フリースペースままま (教育支援センター)	
11:00						
12:00			など			
13:00	みんなの居場所	みんなの居場所				
14:00				フリースペースままま (教育支援センター)	フリースペースままま (教育支援センター)	
15:00						
16:00	学習支援	寺子屋 (小学生学習支援)	ユースセンター			
17:00						
18:00				公設塾 (中学生学習支援)	夜間開所 (中高生・若者の居場所)	
19:00			体験を増やす			
20:00						

地域の人が「つどい」「まなび」「つながる」居場所

平谷村だからこそ













伝統文化の継承



















そんな平谷村/ひらひら平谷の課題

◆現在、小学生は全部で20名

- 園児～高校生合わせて41名（中高は村外へ通いなど）
- 来年度、6年生が6人卒業し、新1年は0人と大きく減る。

◆ニーズの多様化に対しての限られた選択肢

- ひらひら平谷以外の居場所（学童など）が無い。
- 習い事が少ない。（塾、趣味、スポーツなど）
- 過ごす場所・人が限られる。 など。

◆地域とのつながり

- 年配の方や、保護者以外の大人の関わりが少ない

◆→現在の取り組み

- 例：ジュニアスポーツ、学習スペース、村外から人を呼ぶ

◆他にも新しい取り組みを模索中…

みなさんにお尋ねしたい！

- ◆ 子どもたちの「選択肢」をどのように広げられるか。
- ◆ 地域との繋がりをどのように広げられるか。
- ◆ みなさんの地域との共通点や・違い
- ◆ 気軽にひらひらへの質問などでも。